

平成 28年 3月 19日

No 141

(税金)

平成27年分の所得税の確定申告が終了しました。不動産所得(アパート家賃)の申告件数が少なかったですが増えていて、早期終了を目標にしては、3月15日までギリギリ終了の状態でありました。今年もめでたいで、書き入れ時でよいので、忙しい年は良いことあり、仕事させて頂くことには感謝しなければいけません。休みはとれず、体力的にしんどくなっています。毎年同じことの繰り返しをしてしまっていて、おっかないものは先に進ませてしまっています。「すいやる」できません。計画・準備がどうにも甘くなっています。

確定申告でのお客様の業績については、当たり前前のことかと思いますが、お客様の拡大の努力、新商品・新技術の開発、などしているところは、業績が上がり、何も出来ないところは後退しています。税金が出ないお客様もあり、仕事はさせて頂くが、複雑な思いが毎年あります。商売をしている限り、利益を出すことも目標に商売をしていますので、税金が「0円」は、まずいて感じてしまいます。何の為に商売をしているか、直接のお客様を満足させることから始まりますが、利益を出すことで、社員への雇用を守り、利益を出し、税金を払うことで、地域社会への貢献が出来ます。安心して生活出来ること、道を歩くこと、車で走ることも、町中で病院に行けることも子供が学校に行けることも一生涯の命働き、利益を出し、税金を納めて暮らしています。若者が税金を納めたいと、国の支出を引下げない限り、収入不足もあり、消費税の税率を上げることはありません。消費税1%上げると税収は2兆円増えと言われています。どのようないたら利益が出るか、仕事が増えるか、努力が必須があります。消費税率、7%、消費後進の悪循環になります。所得税、法人税、増えること喜ばせよう。

高林幸次